



神宮外苑

8/18 金曜日 8/19 土曜日
参加申込み締切り7月末
オンラインは当日まで

国立オリンピック記念青少年総合センター

自治で創る命の安全保障

基調講演

「自治体からの平和の提言」
廣瀬克哉さん (法政大学総長)

シンポジウム

「市民の命に責任を持つ 一番身近な政府から」
保坂展人さん (世田谷区長)
岸本聡子さん (杉並区長)
平尾道雄さん (米原市長)

- 分科会 1 | 地方議会を討論の広場に ～北海道栗山町議会の実践に学ぶ～
中尾修さん (元北海道栗山町議会事務局長)
福島浩彦さん (中央学院大学教授、元我孫子市長)
- 分科会 2 | コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障
雨宮処凛さん (作家、反貧困ネットワーク世話人)
- 分科会 3 | 気候危機対策待ったなし！自治体からの取組みこそが重要
前真之さん (東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授)
稲田素子さん (脱炭素かわさき市民会議実行委員会、NPO法人かわさき市民アカデミー理事)
- 分科会 4 | すすめよう！子育て支援 必要なの？少子化対策
青木八重子さん (NPO法人 パートナーシップながれやま 代表)

主催/全国政策研究集会2023in東京実行委員会
協力/自治体議員政策情報センター 虹とみどり 平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議
グリーンユースキャンぺーン関西 全国フェミニスト議員連盟

参加費(1日でも2日でも)

- 政策情報センター会員議員——— 5,000円
- 非会員議員(区市議・都道府県議) —10,000円
- 首長——— 5,000円(協賛費)
- 小規模自治体議員(5万人以下)—— 3,000円
- 町村議(会員、非会員問わず)——— 3,000円
- 一般——— 1,000円
- 学生——— 無料

※オンラインの場合も参加費は同じです。

申し込み方法

右QRコードから
お申し込みください。



参加申込み
締切り
7月末

オンラインは当日まで
お申し込みいただけます。

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 <https://nyc.niye.go.jp/wp/>



アクセス

JR東京駅から JR中央線 約14分 新宿駅乗り換え 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車 徒歩約7分	京急本線 約16分 品川駅乗り換え JR山手線(外回り) 約23分 新宿駅乗り換え 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車 徒歩約7分
小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分	成田空港から JR総武線 成田エクスプレス 約80~90分 新宿駅乗り換え 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車 徒歩約7分
地下鉄千代田線 代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分	京王バス 新宿駅西口(16番)より 運行系統「宿51 渋谷駅行」 代々木5丁目停留所 下車 徒歩約1分
羽田空港から 東京モノレール 約23分 浜松町駅乗り換え JR山手線(外回り) 約23分 新宿駅乗り換え 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車 徒歩約7分	渋谷駅西口(40番)より 運行系統「宿51 新宿駅西口行」 代々木5丁目停留所 下車 徒歩約1分

参加のお申し込み、お問い合わせは



〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F
自治体議員政策情報センター・虹とみどり
電話086-244-7723 Fax086-244-7724
jichitaigiinjouhou@gmail.com

新型コロナウイルス感染症への対応で現場参加、プログラムなど変更の可能性があります。ご了承ください。

自治で創る命の安全保障

8/18 金曜日 受付 12:30~

基調講演

自治体からの平和の提言

13:00~14:20

廣瀬克哉さん（法政大学総長）

議会改革の研究者として著名な廣瀬克哉さんですが、実は法政大学の平和・軍事研究の講座が研究人生の出発点でした。その時点で『官僚と軍人』を執筆された時の「専門家でないとわからないことばかりだが、専門家に任せざるわけにもいかない」との言葉はその後の廣瀬さんの研究姿勢にもつながります。今回、危機を迎える平和をめぐる状況に自治体でできること、今一度地方分権をすすめるためのヒントをいただきます。



廣瀬克哉

挨拶

12:50~

上原公子さん（自治体議員政策情報センター長、元国立市長）



上原公子

シンポジウム

市民の命に責任を持つ 一番身近な政府から

14:40~16:10

パネリスト 保坂展人さん（世田谷区長）

岸本聡子さん（杉並区長）

平尾道雄さん（米原市長）

コメント 廣瀬克哉さん（法政大学総長）



岸本聡子



保坂展人



平尾道雄

今、市民の命はコロナ危機や気候危機そして戦争の危機の中で脅かされ続けています。市民の命は市民自治に基づく自治体の民主主義の強さの中で生かされます。市民の命に責任を持つ一番身近な政府である自治体は、医療や介護、災害救助分野で、人権・ジェンダー平等精神の分野で、再エネ・有機農業を媒介に循環型経済の分野で、その基盤を拡大することができます。自治体のリーダーが「自治で創る命の安全保障」について徹底討論します。

1 分科会

16:30~18:30

地方議会を討論の広場に ～北海道栗山町議会の実践に学ぶ～

報告 中尾修さん（元北海道栗山町議会事務局長）

コーディネーター 福嶋浩彦（中央学院大学教授、元我孫子市長）



中尾修



福嶋浩彦

今、多くの地方議会は、議員間討議をほとんど行っていません。しかし、議会を「討論の広場」と位置づけ、議員間や住民との自由闊達な討議を行い、首長の提案した議案に対する修正も積極的に行った議会があります。全国初の議会基本条例で知られる北海道栗山町議会の実践を学び直し、本来の議会へ一歩近づくための手がかりを探ります。

2 分科会

16:30~18:30

コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障

雨宮処凛さん（作家、反貧困ネットワーク世話人）



雨宮処凛

困窮の状況がより深刻になっています。コロナにしても物価高騰にしても、一番に影響を被るのは元から不安定な経済状況にあった人たちであることには疑いの余地がありません。長年、困窮者支援の現場に携わってきた雨宮処凛さん対談形式で困窮のリアルと生活保障の在り方を考えます。

交流会

19:30~

交流会

※新型コロナの感染状況などにより開催が中止になる場合があります。

2022年ロシアのウクライナ侵攻でグローバル経済の脆弱性が明らかになりました。

エネルギー問題や食糧自給問題などの課題で地域循環型社会の重要性が増してきました。

国政では軍事費増と税金投入、そしてこうした重要課題への国民の意見軽視が行われています。

その姿勢は地方自治体軽視にまでつながっています。

今一度、地方自治が力を発揮し、自己決定権を持って、地方発信でやれることを全国集会で話し合います。

8/19 土曜日 受付 9:15~

3 分科会

9:30~11:20

気候危機対策待ったなし！自治体からの取組みこそが重要

前 真之さん（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授）

稲田素子さん（脱炭素かわさき市民会議実行委員、NPO法人かわさき市民アカデミー理事）

人類を含む生態系を脅かす気候危機は深刻さを増しています。断熱などの省エネと太陽光などの再エネを組み合わせた「災害に強く健康にも資する住宅」で、電気代の負担を減らし、地域の雇用を増やしながらか実現する脱炭素化。くじ引きなどで選ばれた一般の市民が議論し、結果を政策に生かす「気候市民会議」。自治体からの着実な取組みこそが希望です。



前 真之



稲田素子

4 分科会

9:30~11:20

すすめよう！子育て支援 必要なの？少子化対策

青木八重子さん（NPO法人 パートナーシップながれやま 代表）

*コメント 福嶋浩彦さん（中央学院大学教授、元我孫子市長）

子ども・子育て支援法の施行、子ども家庭庁の発足…“子育て支援策”の自治体間競争ばかりが目立ちますが、少子化は止まりません。子育て支援策と少子化対策を混同していませんか？「母になるなら流山市」「父になるなら流山市」で評判の千葉県流山市の子育て支援策と、これからの少子化社会への“適応策”を考えます。



青木八重子

まとめの全体会

11:30~11:50

まとめの全体会

各会場のままオンラインで実施

オプションツアー

神宮外苑再開発フィールドワーク 8/19(土) & 神楽坂まち歩き

東京の歴史的景観・環境破壊とまち壊し、攻防と成功例の現場へ

歴史的景観や建造物を壊して超高層ビルを林立させる神宮外苑地区再開発事業に対して、東京都は本年2月に施行を認可しました。象徴的景観である「いちょう並木」の保全や大量の樹木伐採などをめぐる攻防の続く現場を歩きます。一方、高層マンション紛争を経て、伝統を活かした賑わいのある商店街を実現した神楽坂を歩き、経過に深くかかわった日置雅晴弁護士（景観と住環境を考える全国ネットワーク代表）のお話も伺います。

集合 13:00
国立オリンピック記念
青少年総合センター出入口

現地 13:30~14:30 神宮外苑
視察 15:00~16:30 神楽坂
解散 17:00 東京駅

参加費 5,000円
(バス代、講師謝礼)

定員 20名

申込締切 7月31日まで